

安芸市福祉事務所
 所長 山崎 美佳 様

安芸市立川北保育所
 所長 竹内 由美



令和2年度川北保育所園評価最終報告書

1 保育所における自己評価の記録

月	自己評価
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園経営計画の作成 ○ 本年度の重点目標の設定（評価計画） ○ 園評価項目・指標の設定 ○ 職員への園経営計画・園評価計画の説明と共通理解
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者への園評価説明
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中間評価の実施（職員の自己評価、園の自己評価）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置者への中間評価の報告・改善策の検討
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に向けてアンケート調査実施
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートへの集計・分析
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対してアンケート集計・分析結果報告 ○ 最終評価の現地（職員の自己評価、園の自己評価） ○ 最終評価の現地（保護者・設置者への報告、改善策の検討）

2 最終評価結果

総括的な自己評価結果について

<成果>

① 保育・教育活動の充実

特別な配慮を必要とする幼児に対しては、職員会等で報告・情報提供し共通理解をして保育にいかしてきた。又、特別な配慮を必要とする幼児の支援ミーティングを行う事で保護者の思いを聞くことが出来、関係機関とも情報交換する事ができた。子どもたちには自分らしさを発揮できるように、一人一人に合った声かけや対応をして保育を進める事で、友だちと仲良く遊び、自分の思いが出せるようになってきた。

② 職員の育成・資質向上や運営

毎月、火災や地震の避難訓練を行った。初めて行った水害の避難訓練では、課題に対して職員で話し合い確認や環境整備を行った。不審者対策では、安芸署と連携し防犯教室を行い園児の身の守り方を学んだ。園舎内外の、安全点検を定期的実施し危険な箇所に対し早急な対処をしてきた。園務分掌では役割分担をし遂行する事ができた。

③ 地域に開かれた園づくり

今年度は新型コロナウイルスの感染防止の為、園行事に地域の方の参加は控えてもらったが、地域の方の読み聞かせは1月から再開することができた。園での子どもの活動を伝えるクラス便りや園便りを発行し、保護者に情報提供してきた。12月以降、毎月参観日を行い園での園児の様子を保護者に見てもらう機会を設けた。地域に向けては来月の予定と保育所での子どもの誕生会の様子を写真入りで作成し、公民館、小学校、JA、量販店に掲示してもらい情報発信してきた。

<課題及び主な改善策>

◎ 保育・教育活動の充実

保護者に対して行ったアンケートの分析の結果、子どもたちは絵本に関する関心が少し低く、今後は保育所や家庭で絵本と触れ合う時間を増やすよう、年齢に合った絵本の紹介や保育所で園児の好きな絵本を紹介するなどして家庭にも絵本の情報発信をしていく。

◎ 地域に開かれた園づくり

地域の方との連携、交流は新型コロナウイルスの感染状態を見ながら行なっていきたい。お便りの発行が少ない月があり、来年度は意識し紙面の工夫などをしながら、子どもたちの活動や発達、保育の意図が伝えられるように意識していく。

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	友だちや周りの人と関わる活動を通して、人と関わる力を培う	【特別支援保育】 特別な配慮を要する乳幼児の園内の共通理解を深める	4 専門機関と連携し職員間で共通理解をし支援する 月に1回以上	2.5	4 特別な配慮を必要とする乳幼児に対して職員間で共通の支援ができた 90%以上	2.5	配慮を要する幼児には職員間で共通の支援ができたが、医療機関に同伴することができておらず、来年度への課題とする。支援ミーティングをすることで保護者の思いを聞く事ができ、専門機関との情報共有ができた。3月にも行う予定である。
		3 月に1回程度	3 75%以上				
2 2ヶ月に1回程度	2 50%以上						
1 3ヶ月に1回程度	1 50%未満						
		【援助】 一人一人の子どもの個性や発達、支援のねらい等に適した援助を行う	4 その子どもと周りの子どもとの関係を意識しながら集団の中で一人一人をいかした援助をする	3	4 半数以上の子どもが友だちのよさに気付いたり受け止めたりしながら自分の気持ちを表現するようになった	2.7	週日家で子どもの姿や発達を振り返り評価、反省をし、職員間で共有してきた。子どもたちは友だちと仲良く遊び、自分の思いを出せるようになってきた。
3 一人一人の個性や発達を捉えその子らしさを大切に援助をする	3 半数以上の子どもが友だちの個性に気付くようになった						
2 反省・評価や記録の整理をして、子どもの理解を深める	2 半数以上の子どもが自分らしさを発揮するようになった						
1 明るい笑顔で子どもを迎え一人一人とコミュニケーションをとる	1 半数以上の子どもが、自分の遊びを見つけて楽しむようになった						
◆職員の育成・資質向上や運営	園務分掌の役割への積極的な取り組みと連携	【安全管理】 子どもが安心して過ごすことができる安全環境を整える	4 安全管理を意識し園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを理解し、より安全に安心して生活できる環境を工夫する	2.7	4 園全体の安全管理をし、子どもがより安全に安心して生活できる環境を工夫している 90%以上	2.9	定期的に園内外の安全点検をし、毎月避難訓練を実施。全職員の通報訓練を行った。2月には不審者対策の防犯教室も行う。初めての水害を想定した避難訓練では、課題を職員で話し合い、確認や環境整備を行った。
		3 安全管理を意識し、園が作成したマニュアル・ガイドラインを理解し、それに沿った環境を整える	3 75%以上				
2 園が作成したマニュアル・ガイドラインを理解する	2 50%以上						
1 園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを知る	1 50%未満						
		【園務分掌】 園務分掌のその内容を理解し、企画・立案する	4 担当した業務に責任をもって遂行するとともに新たなアイデアをもって改善や提言する	2.7	4 組織の一員として役割を果たし協同する 90%以上	2.7	役割分担をし積極的に担当業務を遂行できた。職員間でアイデアを出し合ったり、相談しながら進めることができた。
3 必要な情報を積極的に収集、分析し有効に活用することができる	3 75%以上						
2 それぞれの職務に応じて役割分担できる	2 50%以上						
1 担当した業務について理解し遂行する	1 50%未満						
◎地域に開かれた園づくり	様々な園行事で保護者・地域と共に歩む保育活動の充実・連携強化	【情報提供】 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報提供	4 2週間に1回以上	2.9	4 (3に加え)より保護者が見やすいような紙面環境がなされる	2.6	月によってお便りの回数が少ない月があったので、意識して書くようにしてきたが、保護者が読みたくなるような内容や紙面の工夫が必要だと感じた。
		3 2週間に1回程度	3 (2に加え)子どもの活動内容に発達の視点や意図が加えられている				
2 3週間に1回程度	2 (1に加え)子どもの活動を伝える内容がある						
1 月に一回程度	1 お便りの内容がお知らせや予定だけである						
		【保護者・地域住民との連携】 園の行事への保護者・地域住民の参加及び協力	4 子どもの様子や予定を事前に伝える 月に一回程度	3.8	4 園の行事に保護者・地域住民が参加及び協力してくれる 70%以上	3	新型コロナウイルスの状況を見ながら、保護者に対しては毎月参観日を設け園の行事に参加してもらい、園児の様子を見てもらった。地域の方の絵本の読み聞かせもお互いが予防対策を十分し、1月から再開し交流している。
3 2ヶ月に1回程度	3 65%以上						
2 学期に1回程度	2 50%以上						
1 必要な時のみ	1 50%未満						